



歌で笑顔を共有

アカペラ男声合唱団「クロコディロス」コンサート

米ハーバード大学アカペラ男声合唱団「クロコディロス」が6月26日、「歌をとおして元気になってもらいたい」と、菊陽中部小学校体育館でコンサートを開きました。

会場予定の菊陽町図書館ホールが被災し、中止も検討されましたが、合唱団の希望で急きょ開催が決定。コンサートに先立ち、団員12人と菊陽中部小学校合唱部4～6年生約40人が交流しました。中部小合唱部は『ぼくらのエコー』を情感豊かな歌声で披露し、英語でクイズを出して町の特産品のにんじんなどを紹介しました。団員は迫力あるアカペラを披露し、町が贈った法被に身を包んで笑顔を見せました。荒巻歩乃花さんと清永こはるさんは「歌で気持ちが伝わった。場面に応じた表情とパフォーマンスが面白かった。私たちも歌で周りを笑顔にしたい」と話していました。

2週間の告知期間だったものの、コンサートには約600人が来場。中学2年生の清水^{よしの}弥乃さんと小学5年生の陽生^{ひなせ}さんは「『上を向いて歩こう』など心に残った。声が楽器みたいにきれいだった」と話しました。



1クロコディロスの表情豊かなパフォーマンスを聞き入る中部小合唱部2約600人の来場者に笑顔と元気を届けたクロコディロス3町木の杉と町特産のニンジンが描かれた法被を贈る中部小合唱部

地域に広がる支え合う心

菊陽町ボランティア連絡協議会が益城町へ雑巾贈呈

26団体約350人の会員からなる菊陽町ボランティア連絡協議会が6月23日、益城町の小学校に雑巾600枚と、会員や小学生が書いた励ましの手紙29通、うちわ約200枚を贈りました。会員が呼び掛けると「私もできることをしたい」と地域住民や会員OBの協力もあり、2日で約500枚の手作りの雑巾が集まりました。川端フジノ副会長は「ささやかだけれども、すぐ使えるものをと心を込めて縫いました。これからもできることをしていきたい」と話しました。



菊陽町ボランティア連絡協議会が贈った雑巾と手紙、うちわ

子どもたちを笑顔にしたい

ピエロのクラウンいちろうくんが町内保育所訪問

クラウンいちろうくんのピエロショーが6月10日～6月15日、町内保育所4園で行われました。ボランティアで被災地を回っているいちろうくんがバルーンアートや皿回し、手品、ジャグリングを披露すると子どもたちは大喜び。最後に園児全員にバルーンをプレゼントしていました。犬のバルーンをもらった村上^{らうま}詢真くん(沖野)は「散歩したり一緒にご飯食べたりしてペットにしたい。とても楽しかった。いちろうくんの名前は忘れないよ」と笑顔で話しました。



バルーンで子どもたちと遊ぶクラウンいちろうくん(左)

願いよ届け

白菊園「七夕会」で曲手老人会と交流

白菊園の七夕会が7月7日に同園で行われ、曲手老人会と交流しました。園児は七夕の飾り付けと一緒に作ったり願い事を短冊に書いたりしました。短冊には「元気に過ごせますように」「おひめさまになりたい」「元気いっぱいみんなと遊べますように」などたくさんの願いが書かれていました。

すみれ組の園児14人は英語、中国語、日本語で『きらきらぼし』を歌った後、鍵盤ハーモニカで演奏しました。老人会は『ふるさと』『海』を歌いました。音楽ボランティアぐるぐるのコンサートも行われ、アニメ忍たま乱太郎の主題歌『勇気100%』や『さんぽ』『手のひらを太陽に』『幸せなら手をたたこう』など約10曲を熱唱。『幸せなら手をたたこう』では園児と老人会も一緒に手をたたいたり歌ったりしていました。

最後に子どもたちは手作りのマグネットを老人会の皆さんにプレゼントして背中や手をマッサージ。木村啓子さん(79歳)は「とても楽しかった。子どもたちの歌も元気で素晴らしく、マッサージも気持ち良かった。ほんなこつ感謝です」とほほえみました。



1きらきらぼしを3カ国語で披露するすみれ組の園児14人2七夕の飾り付けを作る曲手老人会と園児。色とりどりの飾り付けがで上がり、笹に飾られた3盛り上がったぐるぐるのコンサート

音楽で元気になって

陸上自衛隊第8師団第8音楽隊が慰問演奏会

陸上自衛隊第8師団第8音楽隊(北熊本駐屯地)の隊員15人が6月17日、こうのとりの保育園で慰問演奏会を開きました。テーマは「One Team! 心一つに!」。陸上自衛隊の皆さんは熊本地震発生以降、災害派遣として慰問演奏の他、救護や避難所での食糧配給、配水、支援物資運送、入浴支援などとさまざまな支援活動を行ってきました。女性自衛官が「みんなお家がガタガタ揺れて怖かったよね。今日は怖い思いをしたみんなに音楽で元気になってもらいたいと思って来ました。みんな一緒に歌ったり踊ったりしようね」と優しく話しかけて演奏がスタート。アンパンマンのマーチやようかい体操第一、365日の紙飛行機、レットイットゴー、くまもとサプライズなど全9曲が透き通る歌声とともに披露され、来園していた保護者も子どもたちと一緒に手拍子したり口ずさんだりしていました。

演奏会終了後、子どもたちがお礼に手作りのメダルを贈ると、自衛隊の皆さんも満面の笑みに。年長の坂本果穂さん(光6町内)は「一緒に歌って踊って楽しかった。また来てほしい」と目を輝かせていました。



1くまモン体操を踊る陸上自衛隊第8師団第8音楽隊の皆さんと子どもたち。体中で音楽を楽しんでいた2音楽隊の演奏と歌声を楽しむ子どもたちと保護者3『栄光の架橋』を歌う音楽隊